

車高調整

注意 ショックアブソーバーの全長を調整する際、必ず下記B寸法の範囲内(調整限界ミノがケースロックナットより上に出ない範囲)で行ってください。

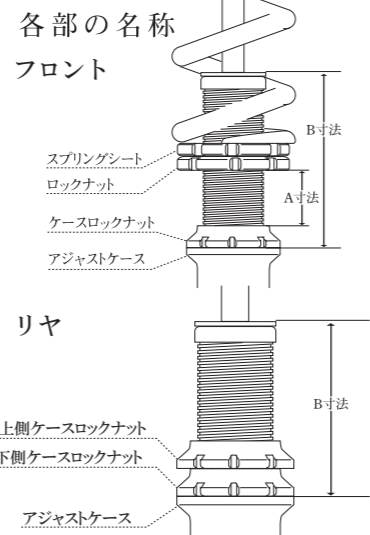
範囲外に調整した状態で使用しますと、アジャストケースが緩みやすくなり、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど、重大事故につながる可能性があります。

注意 リヤサスペンションはショックアブソーバーの全長を調整しても車高は変化しません。リヤサスペンションの車高調整はスプリング上部の車高調整ネジスペーサーで行います。

リヤ 車高調整(車高調整ネジスペーサー)

- ①5~6ページのリヤサスペンション取り外し手順を参照し、車体よりスプリングとネジスペーサーを抜き取る。
- ②車高調整ネジスペーサーのロアシート、ロックナットを緩め、左右のA寸法を希望する数値に合わせて、確実に締め固定する。(A寸法を大きくすると車高が上がり、小さくすると車高が下がります。)
- ③5~6ページのリヤサスペンション取り付け手順を参照し、車体にスプリングとネジスペーサーを取り付ける。
※スプリングシート及びロックナットの締め付けは、必ず専用のレンチ(ひっかけスパナ)を使用し、確実に締まった状態にしてください。

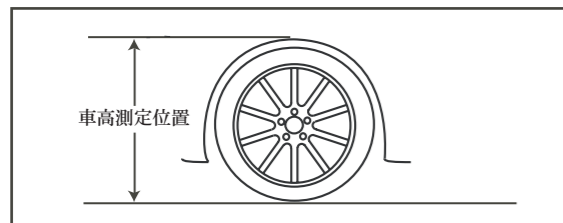
フロント	160 mm ~ 185 mm	165 mm
リヤ	190 mm ~ 225 mm	200 mm



警告

本キットのショックアブソーバーには、車高を上げる限界を示すミノが付いております。調整の際、このミノは必ずケースロックナットの中心に収まっているようにして下さい。ミノがロックナットより上に飛び出した状態で使用しますと、アジャストケースが緩みやすくなり、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど重大事故につながる可能性があります。大変危険です。

車高基準測定箇所



注意 車高調整毎に、必ず各自動車メーカー発行の整備書を参照して、ホイールアライメントを調整してください。

※基準値を超える場合、タイヤの偏磨耗及び、操縦性低下の原因になります。

参考車高(ノーマル比)

	フロントA寸法 25mm	リヤA寸法 35 mm	
クラウン 2.0RS (ARS220)	フロント -25mm	リヤ -30mm	

注意 霧灯の照明部下縁の高さが地上250mm以上になるように調整してください。

注意 参考車高は、当社開発車両によるデータです。車重、装備品、使用するタイヤサイズにより、車高、最低地上高は異なりますので、必ず現車で計測し、最低地上高が保安基準に適合するように調整して下さい。(詳しくは所轄の陸運支局までお問い合わせ下さい。)

開発車両諸元表

※下記のデータは、当社の開発車両データです。車両の年式、グレード、装備内容によりデータは異なる場合があります。

車名	トヨタ クラウン 型式 3BA-ARS220			
グレード	2.0 RS			
ホイールサイズ	フロント	8J-18 INSET 45		
	リヤ	8J-18 INSET 45		
タイヤサイズ	フロント	225/45-18	リヤ	225/45-18
トイン	フロント	0.0 ± 2.0 mm	リヤ	2.0 ± 2.0 mm
キャンパー	フロント	-0° 25' ±45'	リヤ	-1° 25' ±45'
キャスター	フロント	7° 25' ±45'		
車高(ノーマル比)				
クラウン 2.0RS (ARS220)	フロント	-30 mm ~ 0 mm	リヤ	-45 mm ~ 0mm

※ホイールアライメントの数値はメーカーの標準値を記載しております。

※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

TOM'S

TOM'S SPORTS SUSPENSION KIT

取付説明書

脱着作業を行う前に別紙の取扱説明書と合わせて必ずお読みください。

トヨタ クラウン

ARS220 2.0 RS (H30年6月~)

商品番号:48001-TAS22

目次

- 車高調整式サスペンションキットのキット内容…… 1P
- サスペンションキット交換時のご注意…… 1P
- 警告表示の意味…… 1P
- サスペンションキット組立図…… 2P
- フロント・サスペンション取外し/取付…… 3P
- リヤ・サスペンション取外し/取付…… 5P
- ショックアブソーバー全長調整範囲…… 7P
- 参考車高…… 7P
- 開発車両諸元表…… 7P

注意 本製品は減衰調整を行う都合上、ショックロッドトップの寸法が純正よりも長い設計となっております。取付の際に、カバー等の加工が必要となりますので、予めご了承下さい。

注意 Toyota Safety Sense装着車(※以下TSS)において、車高が下がることによりTSSの誤作動が発生する可能性があります。本製品を取付けたことによる誤作動については弊社は責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

注意 AVS(アダプティブ・バリアブル・サスペンション・システム)装着車に、本製品を装着した場合、AVSの機能が使用不可となりますので、予めご了承下さい。また、外したAVSのカブラーは走行時に干渉の無い位置に固定し、防水処理等を行って下さい。エラー(警告灯)等が表示された場合はディーラーにて点検して下さい。

キット内容

キット付属パーツ等全て揃っているか必ず確認してください。

フロントサスペンションキット LH	×1	リヤショックアブソーバー取付調整カラー	×4
フロントサスペンションキット RH	×1	車高調整用引っ掛けスパナ	×2
リヤ サスペンションキット	×2	取扱説明書	×1
リヤ 車高調整ネジスペーサー	×2	取付説明書	×1(本書)
リヤ スプリング	×2		

⚠️ サスペンションキット交換時のご注意

👉 1) 現在お使いの物を外す時の注意

- 取り外す全ての取付部品の状態や、位置を注意して見ておいてください。
- 硬目のブラシなどで、締め付け部からゴミや錆を取り除いてください。
- ネジを外す前に、錆びているナットやボルトに油を染み込ませてください。
- 取り外したサスペンションと取付部品は捨てないでください。

👉 2) サスペンションキットを取り付ける時の注意

- 取り付ける前に、製品の適応車種、年式、取り付け位置等を確認してください。
- キット内容の組立図を参照して、取り付けに必要な全てのパーツが組み込まれているか確認してください。
- 取付が終わったら、取り付けしたサスペンションキットが車体、タイヤ、ホイールと接触していないか確認してください。
- 取り付けが終わったら、保安基準に定められた最低地上高・方向指示器高さ・霧灯照射部高さが確保されているか確認してください。
高さを確保できずに一般公道を走行すると法的処罰を受けます。

警告表示の意味

この取付説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う重大事故の原因となる可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

「警告」や「注意」を促す記号



禁止



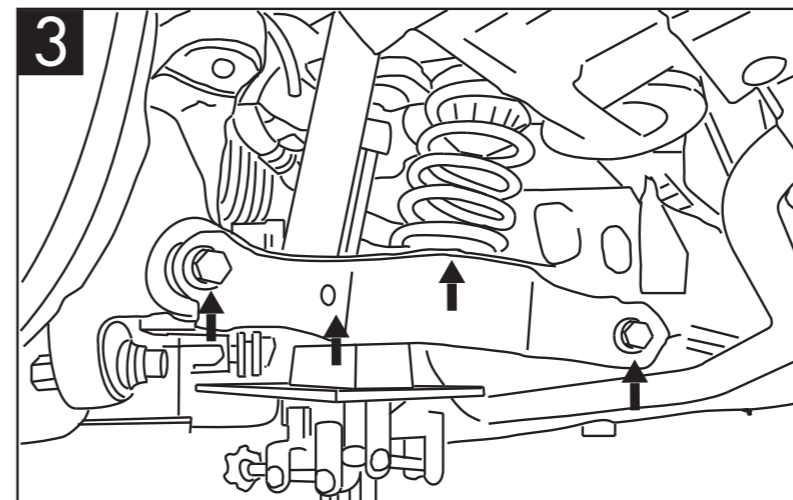
火気厳禁/火中に投じない



分解/改造禁止

使用工具

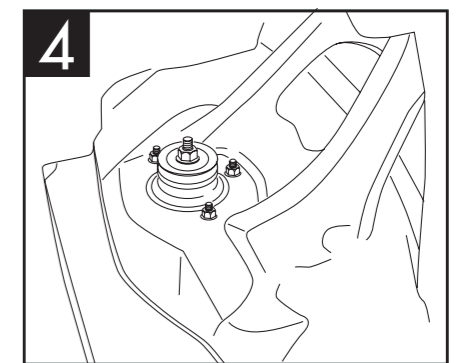
リジッドラック	インパクト
引っ掛けスパナ	スパナ
トルクレンチ	メガネレンチ
ガレージジャッキ	ラチェットレンチ



サスペンションアームにジャッキをかける。
スタビリンクとサスペンションアームを接続しているナットを外し、スタビリンクをサスペンションアームから切り離す。
ショックアブソーバー下側のボルト・ナットを取り外し、ショックアブソーバー下側をサスペンションアームから切り離す。
ジャッキを徐々に緩めていき、サスペンションアームからスプリングを取り外す。

⚠️ **注意** ジャッキは徐々に降ろしてください。急激に降ろすと、スプリングが弾け飛びケガをする可能性があります。

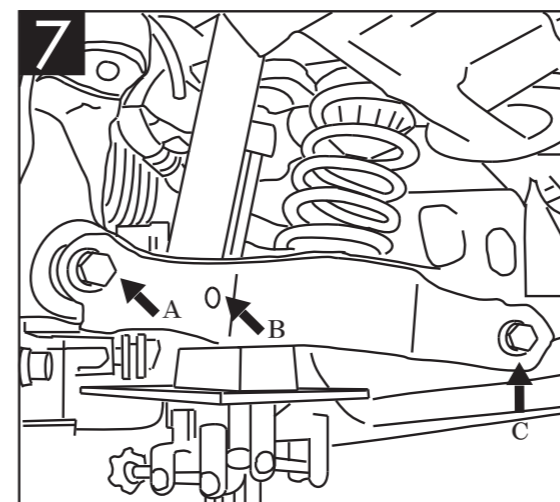
⚠️ **注意** サスペンションアームボディ側の接続は緩めるだけで取り外しはしません。



トランク内のフロアマット、リヤフロアフィニッシャー、トリムカバーを取り外す。
ショックアブソーバー上側の取付ナット3個を取り外す。

⚠️ 注意

ショックアブソーバーを車体から取り外す際は、ブレーキホース及びABSセンサーハーネスに無理な力がかかったり、切断したりしないように注意してください。

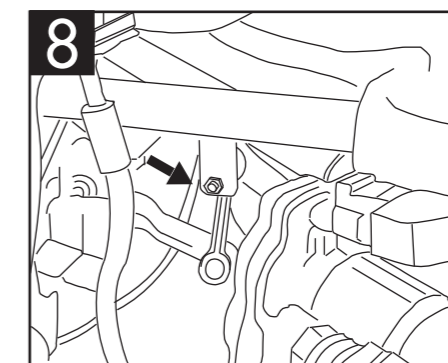


サスペンションアームにジャッキをかけ、サスペンションに荷重がかかった状態にて、スタビリンク、ショックアブソーバー下側を規定トルクにて締め付ける。

A:アームナックル接続側 145Nm(1479kgf-cm)

B:スタビリンク接続部 70Nm(714kgf-cm)

C:アームボディ接続側 150Nm(1530kgf-cm)

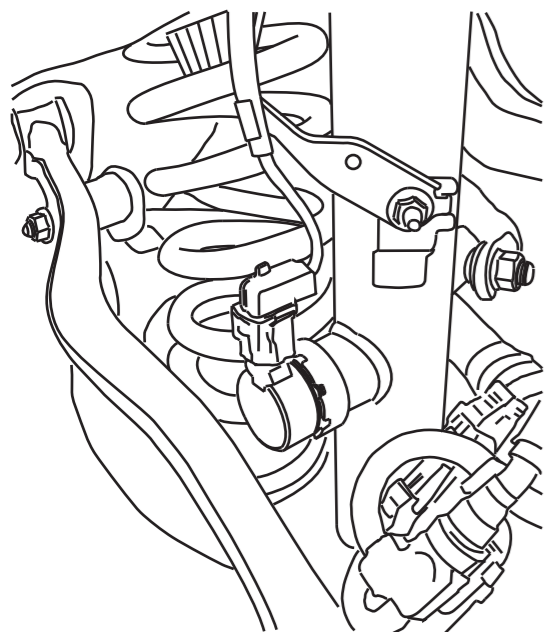


アッパーコントロールアームにハイトコントロールセンサーを取り付ける。

指定トルク 8.0Nm(82kgf-cm)

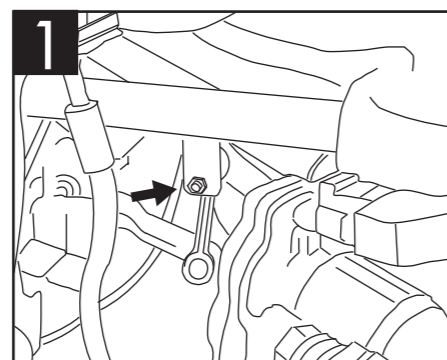
TOM'S REAR リヤサスペンション

脱着のポイント
《詳細図》

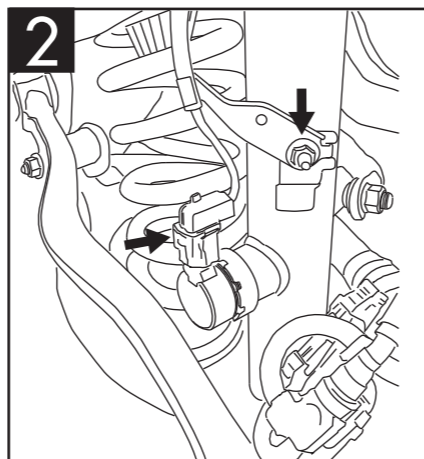


フロント/リヤ共に、取り外しの手順で左右を取り外してから、サスペンションキットの取り付けを行ってください。

取外し

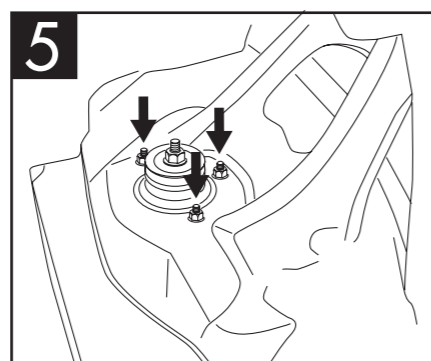


1 アッパーコントロールアームより、ハイトコントロールセンサーを切り離す。



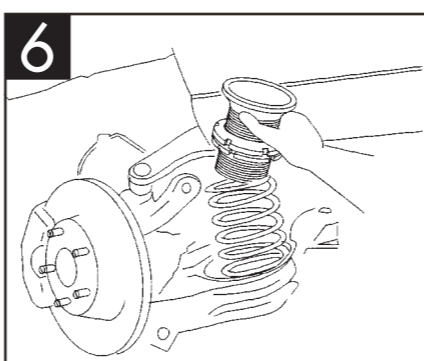
2 AVS装着車は、ショックアブソーバーよりナットとコネクターを外し、パーキングブレーキワイヤを切り離す。
※外したコネクターは干渉しない位置に固定を行うこと。

取付け



5 ショックアブソーバーを車体に取り付け、トランク内のショックアブソーバー上側取付ナット3個を指定のトルクで締め付ける。

指定トルク 46.6Nm(475kgf-cm)

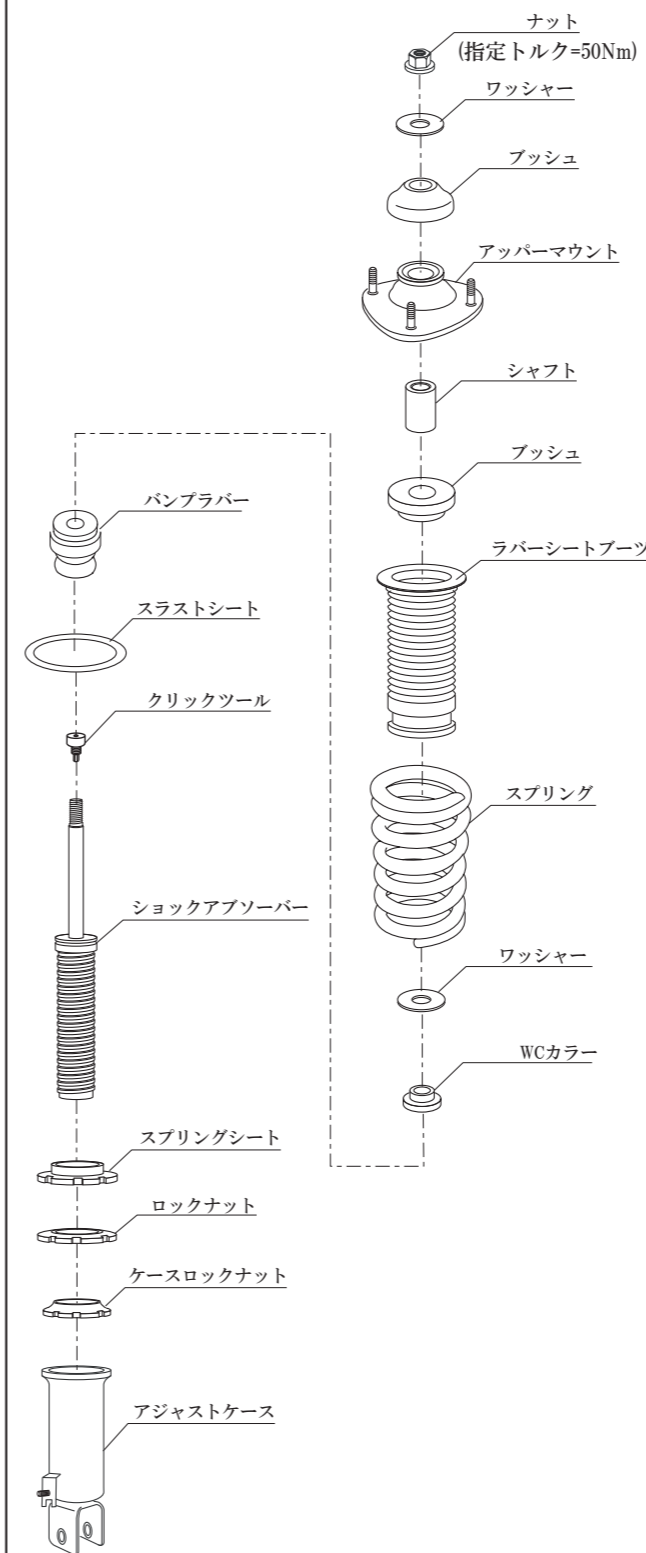


6 スプリングの上に、構成パーツ内の車高調整ネジスペーサーを左右のA寸法を合わせた状態で乗せ、純正のゴムスプリングアッパーシート、スプリングロアシートを取り付け、サスペンションアームに組付ける。

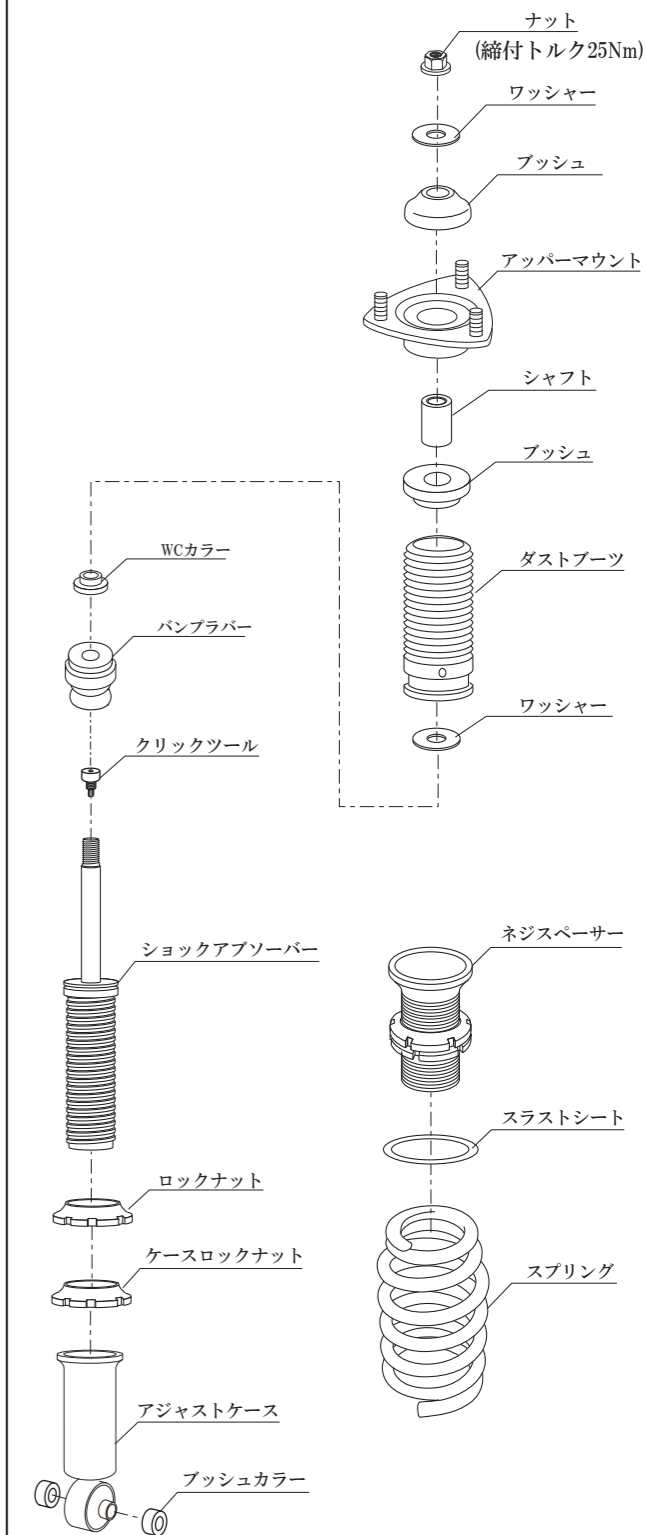
⚠️ 注意

車体に取り付けた状態での車高調整はできません。必ず取り付ける前に左右のA寸法を合わせてください。

フロント・サスペンション組立図



リヤ・サスペンション組立図



※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

⚠️ 注意 サスペンションキット組立時及び増し締め時の注意

このキットのショックアブソーバー上部ナット(ピロナット及びセルフロックナット)を締め付ける際、インパクトレンチの使用や指定値以上のトルクで締め付けを行わないで下さい。オーバートルクによる締め付けは、ショックアブソーバーの破損の原因になります。

減衰力調整の仕方

ショックアブソーバー頂部にあるダイヤルを回して調整します。右に回していき、止まった所が0段です。この位置が段数を確認する基準となり、左に戻したクリックの回数が段数になります。



⚠️ 注意 締めきり(0段)での使用は破損の原因となりますので、使用しないでください。減衰力は1~40段の範囲で調整出来ます。構造上40段以上に戻りますが、破損の原因となりますので必ず1~40段の範囲で調整してください。

⚠️ 注意 左右のショックアブソーバーの減衰力は必ず合わせてご使用ください。事故等につながる恐れがあります。

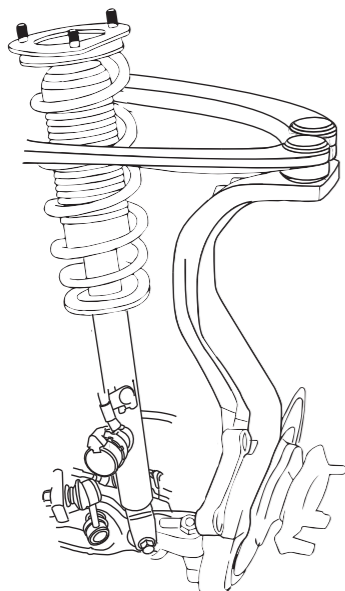
この部分に工具をかけないでください。

⚠️ 注意 ショックアブソーバーの破損の原因となりますので、左図内の矢印部分には絶対に工具をかけないでください。

TOM'S FRONT

フロントサスペンション

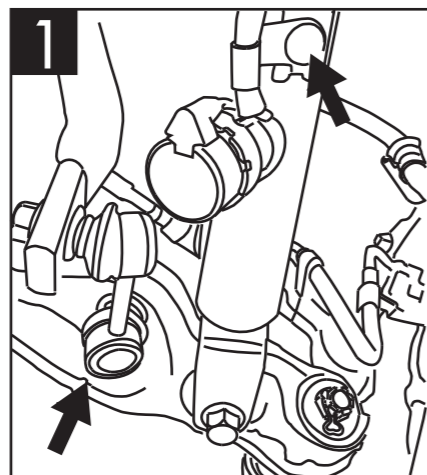
脱着のポイント 《詳細図》



フロント/リヤ共に、取り外しの手順で左右を取り外してから、サスペンションキットの取り付けを行って下さい。

使用工具
 リジトラック
 ひっかけスパナ
 トルクレンチ
 ガレージャッキ
 インパクト
 スパナ
 メガネレンチ
 ラチェットレンチ

取外し



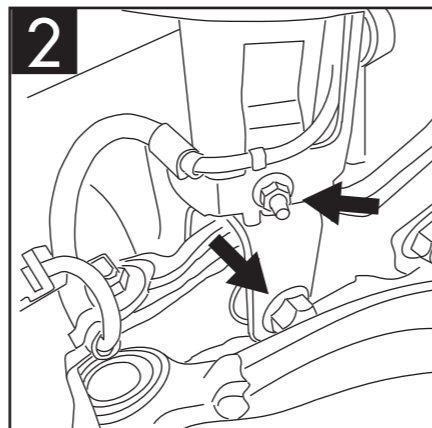
1 サスペンションアームの下にジャッキをあて、スタビリンクを取り外す。AVS装着車はボディ側コネクターを外し、ショックアブソーバーのナットを取り外し、切り離す。

注意

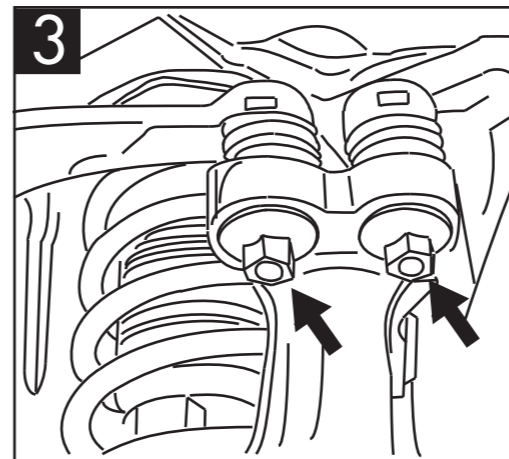
切り離した配線は防水処理を行い、走行時に干渉しない位置に固定して下さい。

注意

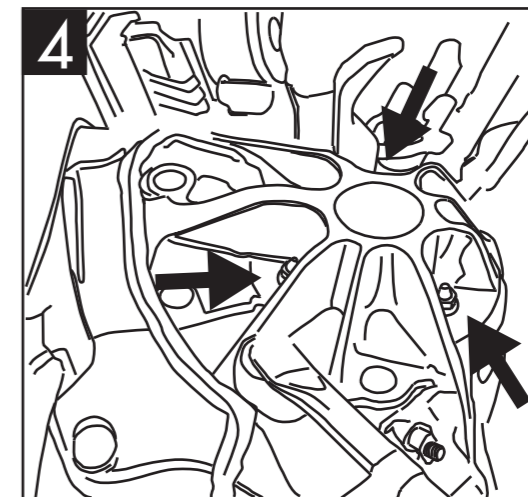
サスペンションアームは急激に落下する可能性があります。必ずジャッキを当て、サスペンションアームを支えて下さい。



2 ショックアブソーバーよりスキッドコントロールセンサーを取り外す。ショックアブソーバー下側のボルト・ナットを取り外す。



3 ステアリングナックルより、アッパーアーム2本を切り離す。



4 エンジンルーム内のカバーを取り外す。エンジンルーム内のショックアブソーバー上側取付ナット3個を取り外し、ショックアブソーバーを車体から抜き取る。

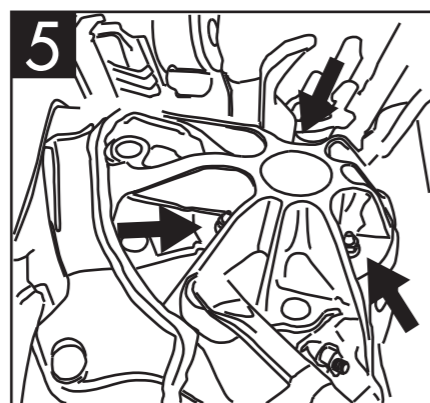
注意

ナットは一度に全部外さずに徐々に緩めてください。手で回せるまでナットが緩んだら、サスペンションユニットを手で抑えながらナットを外してください。

注意

ショックアブソーバー本体を車体より取り外す際は、ブレーキホース及びABSセンサーハーネス等に無理な力がかかったり切断したりしないようご注意ください。

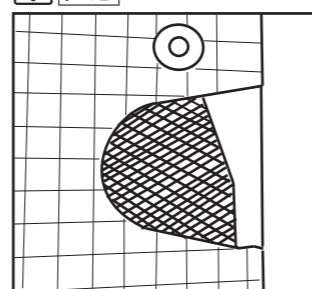
取付け



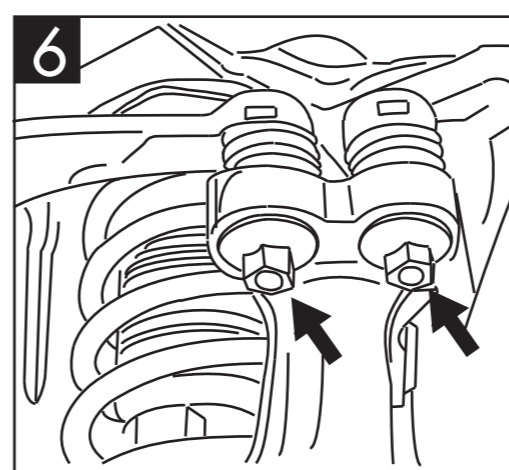
5 サスペンションキットを車体に取り付け、エンジンルーム内のショックアブソーバー取付ナット3個を指定のトルクで締め付ける。

指定トルク:44Nm(449kgf-cm)

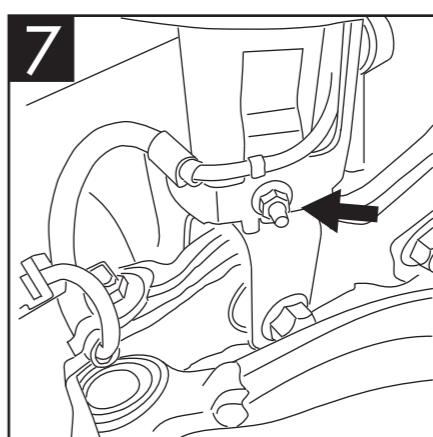
注意



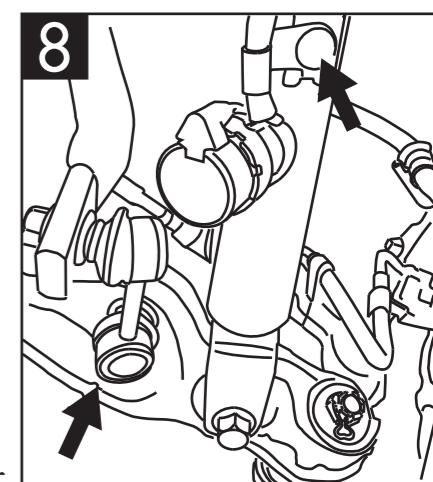
※本サスキットを装着すると、エンジンルーム内のアッパー上のカバー裏面の一部が干渉します。上記斜線部をカットしてご使用下さい。



6 ステアリングナックルにアッパーアーム2本を接続し、指定トルクで締め付けを行い、クリップを取り付ける。指定トルク:60Nm(612kgf-cm)



7 アジャストケースにスキッドコントロールセンサーを取り付ける。指定トルク:8.5Nm(87kgf-cm)



8 サスペンションアームの下にジャッキをあて、車重がかかった状態にて、ショックアブソーバー下側のボルトを車両後方より挿入し指定トルクにて、締め付ける。指定トルク:108Nm(1101kgf-cm) サスペンションアームにスタビリンクを指定トルクにて締め付ける。指定トルク:125Nm(1275kgf-cm)

減衰力調整の仕方

ショックアブソーバー頂部にあるダイヤルを回して調整します。右に回していき、止まった所が0段です。この位置が段数を確認する基準となり、左に戻したクリックの回数が段数になります。



注意 締めきり(0段)での使用は破損の原因となりますので、使用しないでください。減衰力は1~40段の範囲で調整出来ます。構造上40段以上に戻りますが、破損の原因となりますので必ず1~40段の範囲で調整してください。

注意 左右のショックアブソーバーの減衰力は必ず合わせてご使用ください。事故等につながる恐れがあります。

注意 この部分に工具をかけないでください。

注意 ショックアブソーバーの破損の原因となりますので、左図内の矢印部分には絶対に工具をかけないでください。

※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。